

モルドバ月報

2022年7月〔モルドバの報道をもとに作成〕

令和4年8月1日 在モルドバ大使館

【主な出来事】

- 8日、農業・食料産業相の交替。
- 15日、モルドバ支援会合オープニングへのサンドウ大統領のオンライン出席。
- 22日、トランスニストリア地域のテロ警戒レベル「イエロー」期間が8月7日まで延長。
- 28日、ウクライナ情勢を受けた緊急事態の8月8日から60日間（10月6日まで）延長。

1. 内政

- **農業・食料産業相の交替**
8日、農業・食料産業相がヴィオレル・ゲルチュ氏からヴラディミル・ボレア氏に交代した。
- **ウクライナ情勢を受けた緊急事態期間の延長**
28日、ウクライナ情勢を受けた緊急事態期間が8月8日から60日間（10月6日まで）延長されることが議会で承認された。

トランスニストリア関連

- **テロ警戒レベル「イエロー」期間の延長**
8日、テロ警戒レベルの「イエロー」期間が23日まで延長された。22日には、8月7日までの再延長が決定された。
- **露トランスニストリア特任大使の当地訪問**
18日、Tryapitsyn 露トランスニストリア特任大使が当地を訪問し、セレブリアン・モルドバ副首相（再統一担当）、ボルボチェアン・モルドバ外務・欧州統合省次官、クラスノセルスキ・トランスニストリア「大統領」と会談した。会談に於いて、セレブリアン副首相は、ウクライナ戦争以前の2019年から5+2が機能していないことを問題とし、ティラスポルによって繰り返されるトランスニストリアの独立に関する声明に懸念を示し、厳しい状況にある同地域の住民を支援する用意がある、と発言した。ボルボチェアン外務・欧州統合省次官はモルドバがトランスニストリア問題の平和的解決に責任をもって取り組むことを再確認した。クラスノセルスキ「大統領」は、同地域でのロシアの領事サービス向上を再度依頼した。
- **トランスニストリア地域情勢に関する外務・欧州統合省の声明**
29日、外務・欧州統合省はモルドバにおける平和維持活動の30周年にあたり、トランスニストリア地域情勢に関する声明を発表し、同地域における平和維持活動が紛争停止と平和維持のために貢献してきていること、また、ニストル川両岸が対話に基づいて和平の実現に向けた努力を継続することを確認し、自らの中立政策を確認し、同地域における軍事的要素の縮小を通じた諸課題の平和的解決を希求した。

2. 外政

- **露軍によるオデーサ攻撃によるモルドバ国民への被害に対する外務・欧州統合省声明**
1日、モルドバ外務・欧州統合省は、露軍のオデーサ攻撃によってモルドバ保健省の子供のリハビリ施設の従業員1名が死亡、5人が負傷したことを受けて、露軍による市民施設への攻撃を非難する声明を発出した。
- **サンドウ大統領のギリシャ及びリトアニア訪問**
4-5日、サンドウ大統領はアテネ経済フォーラム出席のためにギリシャを訪問し、マージンでサケラロプル・ギリシャ大統領デンディアス・ギリシャ外相、アバゾビッチ・モンテネグロ首相、ポンペオ米前国務長官、ティモシェンコ・ウクライナ元首相等と会談した。フォーラムの挨拶では、露のウクライナ侵攻を非難し、それによって生じているエネルギー危機と食糧危機への対策が必要な旨訴えた。
6日、サンドウ大統領はリトアニアを訪問し、ミンダウガス国王戴冠記念式典に出席した他、ナウセダ・リトアニア大統領、チミリー・ニールセン議会議長、シモニーテ首相等と会談した。ナウセダ大統領との会談では、モルドバの政治、経済委、

安全保障の状況、モルドバのEU加盟等について議論した。サンドゥ大統領は、二国間関係の推進及びウクライナ避難民対応等を受けて、リトアニア政府から最高位の叙勲（Order of Vytautas the Great）を授与された。

- **レヴェンコ内務省のチェコ訪問**

11日、レヴェンコ内務相はチェコを訪問し、国内安全保障及び国境管理のためのEUハブをモルドバ国内に開設するための文書に署名をした。

- **欧州検察庁長官の当地訪問**

13日、サンドゥ大統領は、当地を訪問したキョヴェシ欧州検察庁長官と会談した。ロブ・モルドバ暫定検事総長とキョヴェシ長官は、両組織間の協力に関する合意書に署名した。

- **サンドゥ大統領のポーランド訪問**

14日、サンドゥ大統領はポーランドを訪問し、ドゥグ・ポーランド大統領やポーランド議会議員等とモルドバのEU加盟プロセスに対するポーランドの支援等二国間関係について議論した。

- **ガブリリツァ首相の訪米**

14日－21日、訪米したガブリリツァ首相は、プリンケン米国国務長官、大統領府関係者、政府関係者、議員、世銀総裁、USAID代表、IMF幹部、ビジネス関係者、モルドバ人ディアスポラ等との面会を行った。プリンケン国務長官は、ガブリリツァ首相に対し、モルドバのEU加盟プロセス加盟プロセスが後退しないよう同国の民主化プロセスと改革を支援することを表明した。

- **サンドゥ大統領のモルドバ支援会合へのオンライン参加**

15日、サンドゥ大統領は、ブカレストで行われたモルドバ支援会合にオンラインで参加し、参加者に謝意を伝えた。

- **ポベスク外相と蘭外相の会談**

15日、ポベスク外相は、フックストラ蘭外相と会談し、駐モルドバ蘭事務所が大使館に昇格する通知があった旨発表した。

- **アイルランド外相の当地訪問**

20日、サンドゥ大統領とポベスク外相は、当地を訪問したコーヴニー・アイルランド外務・国防相と会談し、二国間関係の発展の機会、経済分野及びセクター別協力の促進について議論した。

- **ガガウズ自治区長官のトルコ訪問**

27日、トルコを訪問したヴラフ・ガガウズ自治区長官はエルドアン土大統領と会談し、トルコを国際場裏での戦略的パートナーと言及しつつ、トルコからガガウズ自治区へのインフラ支援に謝意を述べた。

- **サンドゥ大統領及びポベスク外相のルーマニア訪問**

29日、サンドゥ大統領はルーマニアを訪問し、ヨハニス大統領、チウカ首相、チョラク上院議長と会談し、二国間協力等について議論した。ポベスク外相はアウレスク外相と会談した。

- **社会党代表の中国共産党・世界マルクス主義フォーラムでの挨拶**

29日、バトルンチャ社会党幹部役員は、中国共産党・世界マルクス主義フォーラムでオンラインメッセージを送り、社会党の目標を紹介し、他国の同胞や新しいパートナーと積極的に協力していくと述べた。

3. 経済

- **2022年3月末時点の対外総債務、対GDP比64%**

1日、国立銀行は2022年3月末時点における対外総債務は8,987百万ドル、2021年末と比較し0.2%減で対GDP比64%と公表した。公的対外債務は2,647百万ドルで2021年末より1.9%減少。

- **2022年第一四半期のエネルギー輸入総額対前年同期比2.8倍**

1日、国立銀行は2022年第一四半期のエネルギー輸入総額は535百万ドル、対前年同期比2.8倍と発表した。主な要因は価格高騰。

- **農家のディーゼルに係る消費税の全額免除を決定**

6日、政府は農家のディーゼルに係る消費税の免除について、30%から全額免税へと修正する法律を可決した。充当予算は320百万レイ（16.6百万ドル）。

- **2022年上半期の国家予算執行状況**

8日、財務省は2022年第一四半期の国家予算における収入は262レイ（13億ドル）で対前年同期比21.9%増、支出は313億レイ（16億ドル）で同18.6%増と報告した。

- **E B R D、ジュジュレステイ港の新貨物ターミナルへ投資**

8日、ジュジュレステイ国際港の受益者であるE B R Dは、ウクライナにおける戦争のために貨物量が増大していることから2023年第二四半期までに建設する新貨物ターミナルへ投資すると発表した。投資額は5百万ドル。同港は新ターミナルを通じてコンスタンツァ港からモルドバやウクライナへのコンテナの積み替えを再開する予定。

- **2022年6月の年間インフレ率31.83%**

11日、国家統計局は、2021年6月の年間インフレ率が対前年同期比31.83%を記録したと発表した。内訳には食品34.3%増、非食品23.4%増、サービス40.7%増を含む。特に顕著な増加は天然ガス301%増、集中暖房92%増、石油製品66%増、電力53%増。

対先月比の平均消費者物価は2.21%上昇し、対2021年12月比では20.17%上昇。

- **エネルギー費用補填特別基金創設へ**

13日政府は家庭向けのガス、電気、暖房等エネルギー費用の高騰を補填するための特別基金創設に係る草案を承認した。人々の脆弱性を後日決定される5つのカテゴリーに分け、対象者が補填を受け取ることとなる。

- **2022年1月～5月貿易統計**

15日、国家統計局は2022年1月～5月の輸出総額が1,875百万ドル、対前年同期比69.7%増と発表した。増加の主な要因は穀物306百万ドル（対前年同期比495%増）、種と果実油221百万ドル（同198%増）、果物油184百万ドル（同465%増）。同期間の輸入総額は3,581百万ドル、対前年同期比33.8%増。貿易赤字は1,706百万ドルで8.5%増。

同期間の日本への輸出は1.4百万ドル、前年同期比42%増。日本からの輸入は22.3百万ドル、前年同期比14%減。

- **欧州理事会によるモルドバからEUへ一時的な農産品無関税輸出枠増採択**

18日、欧州理事会はモルドバからEUへの輸出につき、ウクライナ情勢を受け一部の農産物へ無関税輸出枠を一時的に増やす決定を採択した。モルドバは従来より低関税でEU市場へのアクセスを認められてきたが、ウクライナ情勢を受けてEUはモルドバの農産品7つにつき、一年限り無関税輸出額を少なくとも二倍にすることを決定した。期間は2022年7月22日～2023年7月24日。対象の農産品はトマト、ニンニク、ブドウ、リンゴ、サクランボ、スモモ及びブドウジュース。

- **2022年上半期海外送金797百万ドル**

22日、国立銀行は、今年1～5月、海外からの送金が797百万ドル、前年同期比0.2%増と発表した。

- **2021年自由経済区への投資10%増**

26日、WTOと経済省は、2021年7つの自由経済区に47.7百万ドルが投資され、自由経済区における投資総額が506百万ドルに上ったと発表した。

- **2021年工業生産額対前年比12%増**

27日、国家統計局は2021年の工業生産額が706億レイ（36億ドル）、工業生産高は対前年比12.1%増と発表した。生産高に占める加工業の割合は84%、水・衛生・廃棄物管理業が10%等。

- **2022年農業生産高対前年比6%減**

27日、国家統計局は2022年農業生産高対前年比が5.7%減と発表した。植物農業生産高は7.6%減、畜産同は5.3%減。

4. 経済協力

- **ルーマニア、モルドバ・ルーマニア国境の広軌鉄道の改修完了**

7日、グリーンデアヌ・ルーマニア運輸大臣は、ウクライナの穀物がモルドバを経由し港に直接届く鉄道線となるモルドバ・ジュジュレステイとルーマニア・ガラツィ間の広軌鉄道の改修を終えたと発表した。

- **EU、カウシェニにおける農業ハブ建設支援**

13日、農業・食品産業省はEUからの66万ユーロの資金援助により、パイロットプロジェクトとしてカウシェニに農業ハブを建設すると発表した。同ハブは近代インフラ、廃水処理施設、包装ライン、果物や野菜冷却・加工装置等を備える予定。

- **EU、12.4百万ユーロをエネルギー効率化に出資**

13日、議会外務委員会はエネルギー効率化プロジェクトにおけるEUからの12.4百万ユーロの無償資金協力の交渉開始と契約書への署名を承認した。本プロジェクトは国や地方自治体にとり重要な公共建築物のエネルギー

効率を向上させることが目的。本プロジェクトは総額75.5百万ユーロで、EBRD及びEIBから各30百万ユーロの融資を含む。

- **議会、マクロ財政支援、エネルギー安全保障、中小企業支援及び道路支援に係る協定承認**

14日、議会は世銀からの9.24百万ドル無償資金協力を含む159.24百万ドルの財政支援を批准した。強靱性及び競争力強化を目的としている。同日、EUからの30百万ユーロ無償資金を含む150百万ユーロの財政支援、仏開発庁からの15百万ユーロ融資も批准した。

15日、議会はエネルギー安全保障及び戦略的ガス調達を目的とするEBRDからの300百万ユーロ融資を批准した。同日、世銀からの中小企業支援に係る47.5百万ドルの融資、EIBからの道路改修のための150百万ユーロの融資も批准した。

- **EU、ウングニ市へ観光支援**

15日、ウングニ市はEUからの68.6万ユーロの支援を含む76.2万ユーロの観光プロジェクトを開始した。

5. 対日関係

- **モルドバ工科大学製作の超小型衛星、JAXAと国連宇宙部の支援により国際宇宙ステーションに到着**

15日、モルドバ史上初めての宇宙空間に放出される超小型衛星はスペースXにより国際宇宙ステーションに運ばれた。本衛星は、8月にJAXAと国連宇宙部の支援により、国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟より宇宙空間へ放出される予定。

- **日本製トラクター48台、モルドバへ供与**

29日、対モルドバ有償資金協力「農業機械・設備近代化計画」により供与された日本製トラクター48台がモルドバへ到着し、供与式が開催された。式典にはガブリリツァ首相、ポレア農業・食料産業相及び片山大使等が出席した。